

訪問看護ステーション あざぶだより

Vol.02

2022年08月号

皆さん、こんにちは。訪問看護ステーションあざぶです。朝夕は涼しくなり、過ごしやすい気温になりましたが、コロナの第7波により気が休まらない毎日を過ごされていることと思います。どうぞ、ご自愛ください。あざぶだよりでは、今月も、先月に引き続き、訪問看護支援の内容を紹介させていただきます。

内服管理の支援の紹介



訪問看護の依頼内容で、ニーズの高いものの1つに内服管理があります。

複数の病院から薬を処方され混乱している、薬の数が多くて誤薬がある、薬の飲み忘れが増え残薬がバラバラ、自己判断でやめていたなど、さまざまな状況があります。

薬が正しく飲めないと、病状の悪化や再発、また、副作用でのトラブルなどが起こり、入院につながるリスクが増えてしまいますので、大切な支援と考えております。

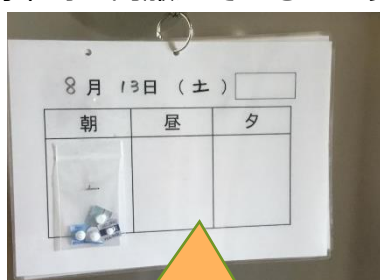
内服管理の方法はいろいろ提案できますが、一番難しいのは、内服管理ができていなくても、自分はできているから支援はいらないと考えているケースです。良かれと思って提案しても、自尊心を傷つけてしまうのは、支援として適切ではありません。

生活習慣や残存能力を日々の関わりで確認し、受け入れられそうな方法を探ったり、間違えの事実を自尊心を傷つけないように共有したりしながら、丁寧に進めていきます。シートから一包化への変更は、正しく飲むには適していますが、「どれが何のくすりかわからなくなるから嫌だ。」といわれることも多くあり慎重に行います。（どれが何の薬かわかっている方が、本来は意識が高くてよいことですよ！）

また、独居などで他者の支援が難しい場合は、主治医と連絡をとり、内服薬の整理や、朝だけにまとめるなど相談し、安全で効果的に内服ができるよう努めています。



飲み方に合わせて手作り



1日ずつの日めくりタイプ。シート希望で小さいジップロックに小分け。



1週間分カレンダーへセット。カレンダーは可視化できるのが利点。



医療法人 札幌麻生脳神経外科病院

訪問看護ステーションあざぶ TEL011-712-0085

訪問地域：北区、東区 従業員：看護師、理学療法士、作業療法士

介護保険・介護予防訪問看護：緊急時訪問看護加算・特別管理加算・ターミナルケア加算

医療保険：24時間対応体制加算・特別管理加算

営業時間：平日 8:30~17:30

*脳神経外科疾患以外も、癌・難病・認知症・看取り等様々な病気を担当しております。

住所：〒065-0022 札幌市東区北22条東1丁目1-40 札幌麻生脳神経外科病院 1階